



# 『Hanako N. 904』 (2007/8/9 発売号)

## What's Hot PEOPLE

# 話題のインドワインが日本上陸！ 欧米のワインマーケットを驚愕させた インドワインの造り手を直撃！

1 WHAT'S HOT PEOPLE  
RAJEEV SAMANT

話題のインドワインが日本上陸！  
欧米のワインマーケットを驚愕させた  
インドワインの造り手を直撃！



1インドでワイン革命を起こし、世界で通用するワイン造りに挑戦するサマント氏。



一本から、(シラズ)2100円、(NVフリュット・メッド・シャンブノメス)2310円、瓶内2次発酵のスパークリング(ソーヴィニヨン・ブラン)2173円。すべて参考価格。送料別(高野)03-3564-2272。http://www.sulamtrading.co.jp



1ワイン畑を見渡せるテイスティンクルームもある。http://www.sulawines.com

●ラジーヴ・サマントさん  
スタンフォード大学卒業後、大手ソフトウェア会社の財務マネジャーに。故郷のインドに戻り1997年、スウ・ヴィンヤーズを創設。インドワイン市場にセンセーションを巻き起こした。

フランス最大のワイナリー、ヨッポラ・ヴィーニャーで大反響を巻き起こし、アラン・デュカスやジョエル・ロブションのレストランにリクエスト。さらにイタリアでは、その味わいに惚れ込んだディナーホテル、アンジェロ・カイア氏が輸入販売しているとか。このワイン、チリでもなければ南アフリカでもない。ムンバイ(ボンベイ)から180キロ離れたマハラシュトラ州北部、ナシクのワイナリーで造られる、インドワイン。

「インドでワイン」と思うのだが、ここ数年、固有のワイン文化が存在しないインドでワイン産業が急成長を遂げている。なかでも1999年にワイナリーを設立した「スラ・ヴィンヤーズ」は、フランスやイタリア、カリフォルニアのワインのプロたちが認めた、新進ワイナリー。インドのワイン市場を牽引するパイオニアとして注目を集めている。ナシクは海抜610メートルの高地にあるため、

スペインやカリフォルニアによく似た気候。もともと食用ブドウの栽培が行われていた土地で、鉄分に富んだ水はけのいい紅土は、ワイン用のブドウ栽培にも適しています」と、スラ・ヴィンヤーズの当主ラジーヴ・サマントさん。

現在ソーヴィニヨン・ブランをはじめ、シヌナン・フラン、カベルネ・ソーヴィニヨン、シラー、ジンファンテルの5品種を栽培し、8種のワインを生産している。「スパイシーなインド料理に合うワインであることが肝心」というスラのワイン。ソーヴィニヨン・ブランは、柔らかな甘みとハーブを伴った香りが深い、口に含むと青唐辛子のような風味と上品な甘みが広がる。「タンドリーチキン」や「ココナッツ系のカレー」に合う。どのワインも、暑さが終りこれからの季節にぜひ試してみたいワインなのだが、残念なことに次の入荷予定は11月。いましばらくお待ちください。